



主な内容 No.1268

- 当初予算関連事業2~4面
- 住みいるリフォーム補助5面
- 4月27日投票 市議会議員選挙.....6面
- 市民ガイド8~11面

救急病院当番表(5月)を11面に掲載しています。

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/
一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

平成26年度 当初予算

総額は3,707億8,139万円

「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」の実現に向けて



将来都市像

人が集い 笑顔 広がる
幸せ実感都市 まつやま

「笑顔のまちづくり」プログラム

笑顔が『集まる』 笑顔を『育む』 笑顔を『守る』

まちづくりの基本目標

- 健康やかで優しさのあるまち 【健康・福祉】
- 生活に安らぎのあるまち 【安全・安心】
- 地域の魅力・活力があふれるまち 【産業・交流】
- 健全で豊かな心を育むまち 【教育・文化】
- 緑の映える快適なまち 【環境・都市】
- 市民とつくる自立したまち 【自治・行政】

●歳出
歳出の主なものでは、民生費の約812億円(対前年度比5.21%増)がトップで、待機児童の解消に向けて児童の受け入れ体制を拡充する私立認可保育所などを支援するとともに、認定こども園への移行に向けた地域保育所や私立幼稚園への支援を行うなど、子育て支援の環境整備を進めます。また消費税率の引き上げに伴い国が措置する臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金を支給し、低所得者や子育て世帯への影響を緩和

一般会計

本市の平成26年度当初予算が3月定例会市議会で決まりました。総額は3707億8139万円となり、一般会計は1729億円で前年度に比べ4.03%の増となっています。厳しい財政状況の中、第6次松山市総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けて、先導的な役割を果たす「笑顔のまちづくり」プログラムの具現化に取り組みむなど、市民の笑顔につながる施策の遂行に配意した予算編成となっています。(2~4面に関連記事)

●歳入
歳入の主なものでは、市税が610億円(同1.67%増)で、次いで国庫支出金の約367億円(同9.62%増)、地方交付税が213億円(同0.93%減)と続いています。

特別会計

特別会計の主なものでは、国保会計が約564億円、介護保険会計が約440億円、競輪会計が約224億円、後期高齢者医療会計が約58億円

当初予算の内訳

区分	予算額	対前年度比	
		増減額	伸び率
一般会計	1,729億円	67億円	4.03%
特別会計	1,315億3,410万円	80億9,470万円	6.56%
企業会計	482億8,559万円	59億265万円	13.93%
合計	3,527億1,969万円	206億9,735万円	6.23%
公債管理会計	180億6,170万円	△1億9,080万円	△1.05%
総額	3,707億8,139万円	205億655万円	5.85%

●企業会計
企業会計では、下水道会計が約301億円、水道会計が約160億円、工業用水道会計が約16億円、簡易水道会計が約6億円となっています。

企業会計



3月定例会市議会で所信を表明する野志市長

市長所信表明(要旨)

平成26年度の国の地方財政対策は、景気回復に伴う地方税収の増を見込んだものとなつていますが、いまだ景気回復の実感に乏しい本市では、国が地方税収全体について見込むほどの市税収入の伸びは期待できないことに加え、少子高齢化に伴う社会保障

障サービスなどの財政需要の増大が続いていることから、本市の財政運営はより一層厳しいものになることを覚悟しなければなりません。しかし、こうした状況下においてこそ、市民の皆さまにお約束した公約の実現にこだわることはもちろん「わがまち松山」に笑顔が集まり、広がっていく中で、多くの「笑顔」に囲まれながら、子どもからお年寄りまで、全ての人が幸せを実感できる都市を目指し、重点的かつ戦略的な取り組みを着実に推進していか

なければならぬと決意を新たにしています。そこで平成26年度の本市予算編成では、不断の行財政改革努力により持続可能な財政運営に努める姿勢を引き続き堅持しつつ「観光振興」「中小企業の振興」「待機児童対策」をはじめとして、第6次松山市総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けて、先導的な役割を果たす「笑顔のまちづくり」プログラムの具現化に重点的に取り組むなど、市民の皆さまの笑顔につながるさまざまな分野にわたる施策の遂行に配意した編成としました。

一般会計の内訳

